

科目名	死生学概説					単位	2.0
担当教員	田代 俊孝						
授業形態	講義	開講期間	前期	配当年次	1	授業番号	1402

●授業のテーマ

死そして生を考えるー死生観の構築とビハーラ運動ー

●到達目標

タブーにして目をそらしがちな死を見つめ、死生観を構築する。同時にビハーラ運動について理解を深める。

●学習内容(授業概要)

高齢化社会における老の問題、末期患者への病名告知の問題、安楽死尊厳死の問題など現実問題の中で生老病死の苦をどう越えていけばいいか。今日では、医療、福祉、教育、環境などさまざまところで死生観が問われるようになってきた。仏教をベースに哲学、宗教、人権などの観点から生と死を考える。死を越えていった念仏者の事例やアメリカのデス・エデュケーション事情などを紹介しつつ、ビハーラ運動の原理を学ぶ。

●学習内容(授業計画)

死生観の確立

1. なぜ今、生と死が課題なのか
 2. 未だ生を知らず、いづくんぞ死を知らんや(ビデオ使用)
 3. 生老病死を超える道としての仏教
 4. 病名告知と死の受容(死のプロセスと死の意味するもの)
 5. ビハーラの現状(長岡西病院の場合・ビデオ使用)
 6. アメリカの仏教ホスピス(ビデオ使用)
 7. 仏典による死のサポート
 8. 『仏説観無量寿経』
 9. 生のみがわれらにあらず(ビデオ使用)
 10. 事例研究1(癌の末期患者 aさんのケース)
 11. 事例研究2(癌の末期患者 bさんのケース)
 12. 事例研究3(中村久子さんケース)
 13. アメリカにおけるいのちの教育(デス・エデュケーション)
 14. 日本におけるいのちの教育(デス・エデュケーション)
 15. まとめ
- よりよい生のために

●準備学習・事後学習の内容

テキストを読み、毎回下調べをすること。
単元の課題ごとに自分の考えをまとめること。

●成績評価方法・基準

授業内試験(7割) 平常の授業(1割) 小レポート(2割)

●テキスト（必携）

≪No.1.≫書籍名：『仏教とビハラー運動－死生学入門』、著者名：田代俊孝、出版社：法蔵館、販売先：仏教
学科研究室、備考：¥2600

●参考文献／その他

講座いのちの教育①『心を支える・ビハラー』田代俊孝編 法蔵館 ¥1200

『ビハラー往生のすすめ』田代俊孝著 法蔵館¥1800

●履修上の注意

配布した資料は綴じて保存をしておくこと。